

## ご挨拶

2019年9月の台風15号による被害調査を手始めに、1級建築士としての専門知識を活かし、学園の改修計画の相談および企画立案を手掛けてきました。

その後、2021年9月に校舎整備事業建築委員会のプロジェクトマネージャーに任命され、「中長期修繕計画立案」及び「学校施設の非構造部材の耐震化定期調査業務」に携わり、現在に至っています。

これまでの調査・検討により、「中長期修繕計画」における3つの視点を考えています。3つの視点とは、①危険な状態、②劣化している状態、③見劣りする状態です。

- ①「危険な状態」とは、例えば「什器・備品の倒れ」など、事故の発生が懸念される状態のことです。
- ②「劣化している状態」とは、例えば「性能・機能の低下」など、建物・設備の品質が低下している状態のことです。
- ③「見劣りする状態」とは、学校施設として見劣りする、又は望ましくない状態のことです。

最も優先すべきは、①に関わる工事と考えます。しかし、②の中には既に「待ったなし」の状態のものもあります。また、③は学園の品格、品位に関わるテーマでもあり、ないがしろにはできません。

今後の「中長期修繕計画」では、これら3つのバランスを取りながら進める予定です。また、修繕工事が単に営繕的な工事に終わることなく、新たな付加価値を生み出せるよう、工夫を試みたいところです。そして、このような検討を積み重ねることで、学園全体の校舎整備計画を明らかにしようと考えています。

1983年、建築士事務所を開設して以来39年間、さまざまな建築物の設計・監理業務を経験してきました。これまでの知見を生かし、学園運営の一助になれるよう、努力する所存です。生まれ育ったこの山手地区に建つ学園に貢献できる機会をいただき、感謝に堪えません。

2022年10月

校舎整備事業建築委員会 プロジェクトマネージャー

谷合 正行

### ■ 資格

- ・ 1級建築士
- ・ 住宅性能評価員
- ・ 神奈川県応急危険度判定士
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 福祉用具相談専門員

### ■ 主な設計・監理事例

- ・ 小児科医院新築工事
- ・ 保育園耐震改修工事
- ・ 寺院本堂・客殿耐震改修工事
- ・ 事務所ビル新築工事
- ・ 神奈川県漁連増築工事
- ・ 児童福祉施設改修工事
- ・ 茶室新築工事
- ・ 個人住宅新築工事



谷合正行

### ■ 所属歴 (建築士事務所の主宰と並行し、所属)

- ・ 公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター 相談員 (2005～2020年)
- ・ 一般社団法人 住宅保証支援機構 研究員 (2020～2021年)